

様式 1 号
(総括票)

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	カヤバ株式会社					
代表者名	氏名	川瀬 正裕	役職名	代表取締役社長執行役員		
主たる事務所の所在地	東京都港区浜松町2丁目4番1号					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	3 1 輸送用機械器具製造業				
主たる事業の概要	輸送用機械機器製造業					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	13, 833	13, 418	13, 316		
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	28, 453		27, 364		
	調整後排出量	t-CO ₂	28, 453	24, 868	27, 364	
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0		
自動車の台数	台	32		35		
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	45				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2022	年度	計画期間	2023	年度～	2025	年度
報告対象年度	2023	年度					

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	総務部 施設・環境課にて閲覧可能 閲覧可能時間（平日 9：00～16：00） 連絡先（0268-82-9344）
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

2004年にISO14001を認証取得しており、環境活動計画として「地球温暖化防止」を掲げており、CO₂排出・エネルギー使用の低減を2022年をBMとして生産高原単位において3年間で3%を目標値として活動しています。

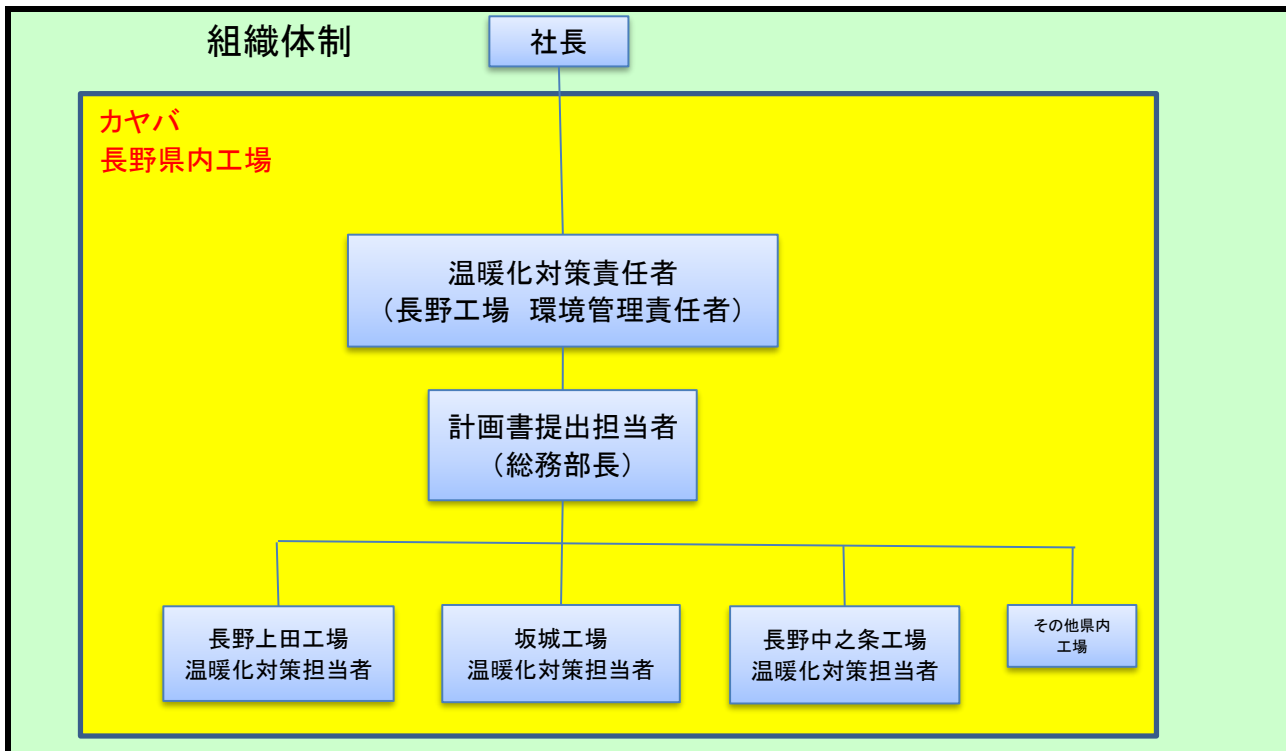
尚、省エネ部会を環境部会として設置し、定期的を開催し、活動を推進しています。

又、CO₂排出総量削減目標を2022年BMで-4.2%/年を掲げ活動を行っています

2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等

目標等の有無	有	目標年度	2030	年度	削減目標	2018年BMにて半減
削減計画の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年再生可能エネルギー15%導入 ・エネルギー△1%/年の継続 ・2030年CO₂排出量50%削減(2018年比) ・IT活用によるエネルギーの見える化推進 					
イニシアチブ 参画状況	<input type="checkbox"/> SBT	<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/> 再エネ100宣言 RE Action	<input type="checkbox"/> その他		

5の1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制



5の2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

トップ報告 (3か月毎開催)
環境専門部会 (1ヵ月毎開催)
省エネ部会 (月1回開催)

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2023 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式 1 号
(総括票)

6 の 3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基 準 年 度	基準排出量	45	t-CO ₂			単位	
2022 年度	調整後排出量			基準原単位		t-CO ₂ /	
目 標 年 度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2023 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
Ⅰ～Ⅱ	Ⅰ-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	Ⅰ-2	エコドライブの励行						
Ⅲ	Ⅲ-1	次世代自動車の導入計画						
Ⅳ	Ⅳ-1	次世代自動車の導入						

様式 1 号
(総括票)

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

番号	区分	設備等	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	照明設備	L E D 照明への更新	2023～ 2025	58.72	2023	38
2	エネ起	空調機	高効率機器への更新	2023～ 2025	6.6	2023	1.66
3	エネ起	空調機	燃料の転嫁によるCo2削減	2023～ 2025	10.5	2023	34.73
4	エネ起	ボイラ	燃料の転嫁によるCo2削減	2025	70.9		
5	エネ起	コンプレッサ	高効率機器への更新	2023～ 2025	1.68	2023	
6	エネ起	発電設備	コージェネの採用検討	2023～ 2025			
7	エネ起	発電設備	太陽光発電の拡張	2023～ 2025	46.56	2023	
8	エネ起	受変電・配電設備	アモルファス変圧器への更新	2023～ 2025	8	2023	
9	エネ起	給湯・給排水	電化へ更新	2023～ 2025	2.17	2023	
10	エネ起	生産設備	高効率・生産性向上機器への更新	2023～ 2025	24.01	2023	11.43

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	512	80	512		
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年	0	0	0		
うち県内産	千kWh/年	0	0	0		
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年	0	0	0		
FIT非化石証書	千kWh/年	0	0	0		
非FIT非化石証書(再エネ指定)	千kWh/年	0	0	0		
うち県内産	千kWh/年	0	0	0		
J-クレジット	t-CO ₂ /年	0	0	0		
県が認証したクレジット (森林CO ₂ 吸収評価認証制度等)	t-CO ₂ /年	0	0	0		
再生可能エネルギー電気 (自家消費、PPA、自己託送等)	千kWh/年	29	122	27		
再生可能エネルギー電気 (小売電気事業者からの買電)	千kWh/年	0	0	0		
うち県内産	千kWh/年	0	0	0		

様式 1 号
(総括票)

1 1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	2	20,590	2	19,427				
1,500k1以上 3,000k1未満	1	4,303	1	4,454				
1,500k1未満	4	3,560	4	3,482				
合計	7	28,453	7	27,364				

1 2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績

(t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0		
CH ₄	0	0		
N ₂ O	0	0		
HFC	0	0		
PFC	0	0		
SF ₆	0	0		
NF ₃	0	0		
合計	0	0		

1 3 次世代自動車の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0		
電気自動車	0	0		
燃料電池自動車	0	0		
クリーンディーゼル自動車	0	0		
その他 (ハイブリッド等)	9	9		
合計	9	9	0	0
自動車総数	32	35		
次世代自動車導入割合	28.1	25.7		

様式1号
(総括票)

1.4 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	社内規定により、公共交通機関を使用した際は会社負担 工場間移動に乗合など推奨している
自転車の利用促進	駐輪場を各工場に設置し、近隣従業員への協力を働きかけている。
来客者の交通対策／社用車等の移動に伴う取組	主要駅構内に会社案内板を設け、公共交通機関の利用を促進している。
電気自動車用充電設備の設置／電気自動車の導入	社有車の電動化を検討中 2025年度目途に導入
物流の合理化	運送会社との連携により、物流管理システムを構築している。

1.5 環境配慮活動状況

環境配慮活動		活動内容の詳細	
		実施内容	実施年度
<input type="checkbox"/>	SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している	
<input type="checkbox"/>	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD） 支持を表明している	
<input checked="" type="checkbox"/>	環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している 名称 ISO14001	2004
<input type="checkbox"/>	グリーンボンド・ESG投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している	
<input type="checkbox"/>	ZEB	の認証を取得している	
<input checked="" type="checkbox"/>	ダイヤモンド・リスポンス（DR）	電気の需要の最適化に資する措置（上げDR・下げDR）を実施している	2022
<input checked="" type="checkbox"/>	その他	産業廃棄物として、廃液再生装置の導入	2016から

1.6 自由記載欄（特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等）

<p>エアー漏れ測定器を購入し、漏れを低減・削減するようムダ取りの活動している。 空調機の電化を推進し、2023年度はLPGを用いた空調の電化を実施、今後もSCOPE1 排出低減としての電化を計画していく。</p> <p>照明器具のLED化は、計画的に進め2025年度までに完遂できるよう活動している。</p> <p>太陽光発電など再生可能エネルギーの導入をグループで進めている。</p>
--